

〔改訂版〕

「いのち」の大切さを考える

～たくさんの画像を使った感動的な実話～

道徳 総合（福祉・介護）

- (1) ねらい
- ① 「いのちの大切さ」を理解し、自他の生命を尊重し、生きることの喜びを感じる。
 - ② 人間を理解し「いのちと向き合う」体験談を通して、自分の存在を認めながら生きていくことの大切さを学ぶ。
 - ③ 多様な価値観に出会い、人と人がかかわり響き合うことの豊かさと醍醐味を学ぶ。

- (2) 対象
- ・小学4年～中学3年生
 - ・地域・保護者の方にもご案内をお願いします。



- (3) 講師 秋田 昌子 氏
(感性とコラボレーション研究会)

- (4) 形式
- ・所要時間 1単位時間（土・日授業可）
 - ・学年の児童・生徒全員が体育館や集会室等に集まり講話形式で行います。

★地域・保護者と語り合う「道徳地区公開講座」として大いに活用できます。

- (5) 内容

『トラさんが生きた！みんなも生きた！』
～ 若いと人間といのちと向き合い、自分に出会う ～

・たくさんのスライドを通してお話をしていただきます。（要 プロジェクター）

103歳で亡くなった「トラおばあちゃん」を介護する3年間の生活は、家族にとって「たいへん」と思われる日々でしたが、その半面、貴重な「宝物」にもなりました。

目の前で起こる出来事の見方を変えると価値が変わり「人がいきいきと生きられる！」そんな大切なことを“トラさんと子どもたち”が身をもって教えてくれました。

秋田さん自身がおばあちゃんの介護を通して、いのちの可能性や自分らしく生きることの大切さを学び、自分の生き方、考え方が変わっていく様子を、たくさんの画像を映写しながら本音で語ってくれます。

「生きる」ことの素晴らしさを多くの人と共感する人間愛に満ちた実話です。

- (6) 費用 「要相談」
事前に生徒から「アンケート」を、事後に「感想文」を送っていただきますようお願いいたします。（事前アンケート、事後「感想文」の用紙は講師が用意いたします）

- (7) 申込み **外部人材派遣申込書** 実施日2ヶ月前まで ⇒ 学校支援ネットワーク本部へ送付
講師の方には、当本部から連絡を取らせていただきます。
詳細は、講師の方と学校担当者で打ち合わせください。